

| | | | |
|------|----------------|------|-----------------|
| 助成者 | 野川 未央 | 活動期間 | 2021年4月～2024年3月 |
| 所属機関 | 特定非営利活動法人 APLA | 職名 | 事務局長／理事 |

インドネシア・南スラウェシのエビ養殖地域における住民主体の環境保全活動モデルの構築

【活動場所】 インドネシア 南スラウェシ州ピンラン県ランリサン郡（ランリサン村、ウエット村）、マッティロソソパ郡（マトンボン村）
 【事業目的】 インドネシアでは行政によるゴミ処理システムが整備されておらず、住民は家庭から出る不燃ゴミ（プラスチック類・ビン類）を家の周辺の河川に投棄する以外に選択肢がなく、地域環境に深刻な影響を及ぼしている。そうした状況に対して、地元で伝統的粗放型エビ養殖を営んできた生産者が、自分たちが依拠する水環境を守ることで経済的にも持続可能な地域を次世代に手渡したいという願いから、家庭ゴミ回収システムを構築し、そのモデルを県内に広めることを目的に実施。

可燃ゴミ焼却炉建設の様子



家庭ゴミ管理ワークショップの様子



【活動内容】

- ①住民説明会実施 ②住民への環境教育実施（ワークショップ、教育セミナー）
- ③自動三輪車を改造したゴミ収集車配置 ④ゴミ箱制作・設置 ⑤ゴミ収集とゴミ選別作業開始・運営
- ⑥地域の清掃活動 ⑦県庁へのロビー活動 ⑧活動ビデオの作成

【活動成果】

東アジア州シドアルジョ県におけるATINA社/COINによる住民主体型環境保全活動モデル（2015年から3年間財団助成）を南スラウェシ州ピンラン県へ水平展開した事業。前半はコロナや自然災害、共同事業者の組織運営面の問題で計画どおり進捗できなかったが、ATTINA社/COINからの事業支援・サポートを受けて事業を再構築。地域行政の協力も得て、対象地域とした3村において住民組織主導の家庭ゴミ回収モデルが開始され定着した。また、シドアルジョ県の活動リーダーがピンラン県へ指導に訪問。異なる地域の住民同士の助け合い、学び合いが行われたことは想定外の成果となった。活動状況についてはビデオを作成。広報に活用され更に他の地域へ活動が展開されることを期待する。